

岐阜大学ラボツアー・産官学交流会

会員の皆様に大学の研究現場と最新の研究成果をご紹介いたしたく、平成14年から17年まで8回開催したラボツアーを、再開いたします。

今回は、平成24年4月に新たに発足した複合材料研究センターを中心に、複合材料関連の研究室の公開と研究成果の一端をご紹介いたします。

また、見学会に続き、教員との交流会も設けましたので、併せてご参加いただき、本学活用の手がかりにいただければと思います。お時間の都合がつかない会員の方は、産官学交流会だけのご参加も歓迎いたします。

ご多忙とは存じますが、ご関心のある皆様の多数のご参加をお願いいたします。

ツアー対象者： 岐阜大学地域交流協力会の会員

開催日時： 平成26年2月21日(金) 15:00~18:00

主催： 岐阜大学研究推進・社会連携機構

ラボツアー全体構成： 概要説明(30分、第二食堂)⇒研究室ツアー(90分)⇒交流会(60分、第二食堂)
(全体3時間、ラボツアーご参加は無料です。)

ツアー方法： 訪問ラボ； 4研究室

巡回班； ツアー参加者2班で、班ごとに巡回

産官学交流会： 見学会に引き続き、参加者と研究者との産官学交流会を開催します(第二食堂)。産官学交流会だけのご参加も歓迎いたします。

交流会参加費500円お願いします。アルコールもノンアルコール飲料もあります。飲酒される方は車での来学はお止めください。

ラボツアー行程		時間		1班	2班
概要説明 (第二食堂)	主催者挨拶	2分	15:00~		
	事務連絡	3分	15:30		
	研究室紹介	20分			
ラボツアー (各研究室)	三宅研究室	20分	15:30~	① ↓	④ ↓
	仲井研究室	20分	17:00	② ↓	① ↓
	國枝研究室	20分		③ ↓	② ↓
	守富研究室	20分		④ ↓	③ ↓
産官学交流会(第二食堂)		60分	17:00 ~		

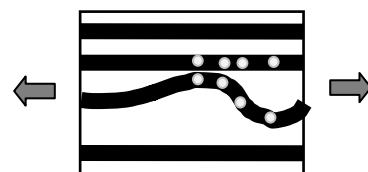
研究室紹介

1. 三宅研究室

題目：複合材料 CFRP のマイクロ評価

概要：1 μm に絞って照射したレーザー光の散乱光から、直径6 μm の炭素繊維に発生している応力・ひずみを測定できます。この技術によれば、弛んだ繊維は応力分担していないことなど、CFRP の強度発現のメカニズムが分かります。

担当教員：工学部 機械工学科 三宅卓志教授(複合材料研究センター長)



繊維のたるみ、うねりによる応力分担の差の解明(局所応力測定)

2. 仲井研究室

題目：組物技術を利用した複合材料の作製技術

概要：日本の伝統的な繊維加工技術を応用すると、優れた力学的特性を有する複合材料の強化形態が作製可能となります。組物技術と連続成形技術を組み合わせることにより、長尺物の閉断面構造物をハイサイクルで成形することが出来ます。

担当教員：工学部 機械工学科 仲井朝美教授



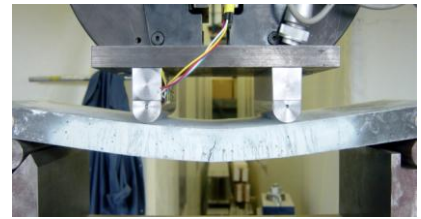
自在な力学特性の複合材が製造できる組紐装置

3. 國枝研究室

題目：短繊維によるコンクリートの強靱化

概要：脆いというコンクリートの弱点を補うために短繊維を混和した複合材料を開発、用途拡大を模索しています。シミュレーションによる強度・靱性の評価も可能となっています。

担当教員：工学部 社会基盤工学科 國枝 稔教授

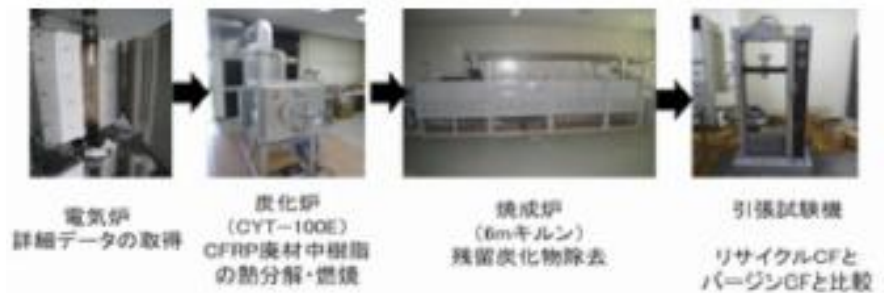


二つに折れることなく変形するコンクリート

4. 守富研究室

題目：リサイクル炭素繊維の省エネ再生技術

概要：小型バッチ試験装置で伝熱および熱分解速度等のデータを取得して設計計算を行うとともに、CFRPの炭化炉および残留炭素焼成炉からなる2段処理後のリサイクル炭素繊維およびバージン炭素繊維の引張試験等比較による評価試験を行っています。



担当教員：大学院工学研究科 環境エネルギーシステム専攻 守富寛教授，隈部和弘助教

お申込み：

参加申込書よりFAX または E-mailにてお申し込みください。

なお、準備の都合上 **2/19(水)まで**にお申込みください。

- ・ラボツアー参加申込書(word)
- ・ラボツアー参加申込書(pdf)

お問い合わせ先：岐阜大学 研究推進・社会連携機構

石川浩二 TEL: 058-293-2027 E-mail: k_ishi@gifu-u.ac.jp

山田 滋 TEL: 058-293-3188 E-mail: syamada@gifu-u.ac.jp